

令和3年度の回復戦略の実施内容について

1 適疎な観光の実現

(1) 地域の魅力などの整理及び情報発信手段の一元化

- 食に関するマップ作成

令和4年3月、石巻地域の食に焦点を当てたマップを 25,000 部作成し、令和4年4月以降順次配付した。新型コロナウイルス感染症対策の観点から、テイクアウト又は「選ぶ！選ばれる！！みやぎ飲食店コロナ対策認証制度」の認証店舗を掲載した。

- SNS 映像広告による観光 PR

令和4年3月、デジタルサイネージ等での活用を想定し、石巻地域の魅力発信に向けた PR 動画作成及び Facebook 広告を活用した広報を行った。各市町ごとに 15 秒程度の動画を作成し、Facebook において 30 万回の広告配信を実施した。

(2) 社会性志向の観光の整理及びツアーへの反映構築

令和3年11月から2月にかけて、震災発生から10年の節目を契機とした、石巻市、東松島市、女川町の伝承施設等を巡る「石巻地域周遊伝承バスツアー」を計16回実施した。ツアーには合計217人の方に参加いただいた。

2 関係人口や関係地域の創出

(1) 会員向け各種サービス充実と事務局体制基盤強化

令和3年7月より、石巻エリアファンクラブチラシの配布を実施した。また、令和4年2月23日、ファン感謝オンラインイベントを開催した。【(一社)石巻圏観光推進機構】

(2) 隣県で物産観光展や関係地域でイベント等の実施

令和3年7月、道の駅国見あつかしの郷（福島県）において「石巻地域の物産と観光展 in あつかしの郷」を実施した。地元企業の出店（10事業者）による特産品等の販売を行い、16日間で3,033千円の売上となった。

3 石巻地域の観光課題の解決

(1) 無料 Wi-Fi 整備及び Google カレンダー情報共有

令和3年4月より、各市町観光協会及び Google カレンダーによるイベント等の情報共有を開始した。【(一社) 石巻圏観光推進機構】

(2) MaaS システム構築及び二次交通利便性向上調整

令和3年12月から令和4年1月まで、「石巻 MaaS 海街めぐり」の実証実験を実施した。地域内の観光周遊バスの運行、離島エリアの乗り継ぎ航路の整備、モニターツアーを実施した。【(一社) 石巻圏観光推進機構】